

第16回多摩川子ども環境シンポジウムを開催しました



フォレスト・イン昭和館(昭島市)シルバンホールにて

2023年12月9日(土)、4年ぶりとなる「第16回多摩川子ども環境シンポジウム」が昭島市のフォレスト・イン昭和館において開催され、総勢135名の発表関係者・来場者が会場のシルバンホールに集まりました。

午後2時。当フォーラム細野会長による開会挨拶の後、中学校3年生の司会進行により、10組の小学生による発表会が始まりました。発表内容は以下の通りです。

- ①「野川の水質調査～全長20kmを往復して～」(調布市・調和小学校 5年)
- ②「奥多摩で学ぶ！私たちと自然の関わりについて」(奥多摩町・古里小学校 4年)
- ③「多摩川のナマズを釣って食べてみた」(世田谷区・和光小学校 4年 われら鯰三兄弟チーム)
- ④「多摩川にはどんな鳥や動物がいるのか」(世田谷区・和光小学校 4年 I・LOVE・動物チーム)
- ⑤「多摩川と緑」(青梅市・第六小学校 5年)
- ⑥「土・木・雨水の関係と暮らしについて～多摩川源流体験に参加して～」(立川市・第三小学校 6年)
- ⑦「緊急SOS！せせらぎの水復活大作戦！！」(川崎市・下布田小学校 6年)
- ⑧「ナマズの研究」(世田谷区・和光小学校 4年 ナマズチーム)
- ⑨「アユの産卵」(世田谷区・和光小学校 4年 アユの産卵チーム)
- ⑩「多摩川の水源林に広がる苔の世界」(奥多摩町・氷川小学校 4年)

発表終了後、休憩を挟んで隅内教育研究所の隅内所長から全ての発表に講評をいただいた後、参加した子どもたちと当フォーラム役員が、特に優秀だったと思う発表に投票を行い、最終的に、グランプリには⑦「緊急SOS！せせらぎの水復活大作戦！！」が、準グランプリには③「多摩川のナマズを釣って食べてみた」が、そして審査員特別賞には⑩「多摩川の水源林に広がる苔の世界」が選ばれました。受賞者には、細野会長からトロフィー(審査員特別賞は楯)と賞状が授与されました。

最後に平岡副会長の閉会挨拶で発表会は終了しました。

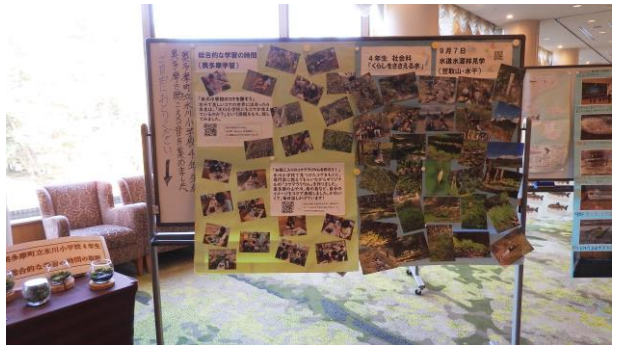
来場者からは「あたたかい雰囲気での発表会だった」「子どもたちの探求心や学ぼうとする姿勢が素晴らしかった」「同じ多摩川でも場所によって全く環境が違うことがわかった」等の感想をいただきました。

第17回目となる来年度は、2024年12月14日(土)に同じ会場で開催する予定です。来年もご期待ください！

イベント当日の様様



会場のフォレスト・イン昭和館。受付に続々と集まる発表関係者。



ホワイエには発表者の研究材料等が所狭しと展示されました。



シルバンホールには135名の来場者が。



午後2時。中学校3年生の司会進行で発表会はスタートしました。



当フォーラム細野会長から開会挨拶をいただき、いよいよ10組の発表が始まります。



①「野川の水質調査～全長20kmを往復して～」



②「奥多摩で学ぶ！ 私たちと自然の関わりについて」



③「多摩川のナマズを釣って食べてみた」



④「多摩川にはどんな鳥や動物がいるのか」



⑤「多摩川と緑」



⑥「土・木・雨水の関係と暮らしについて
~多摩川源流体験に参加して~」



⑦「緊急SOS!せせらぎの水復活大作戦!!」



⑧「ナマズの研究」



⑨「アユの産卵」



⑩「多摩川の水源林に広がる苔の世界」



他の発表者や来場者からの質問に答える場面もあり、会場は終始和やかな雰囲気となりました。



投票結果を踏まえ、別室にて審査員特別賞の受賞者を相談しながら決める役員の皆さん。



休憩の後、隅内所長から各発表の講評をいただき、いよいよ受賞者の発表です。



◆グランプリ◆

- ⑦「緊急SOS!せせらぎの水復活大作戦!!」
川崎市・下布田小学校



◆準グランプリ◆

- ③「多摩川のナマズを釣って食べてみた」
世田谷区・和光小学校 われら鯰三兄弟チーム



◆審査員特別賞◆

- ⑩「多摩川の水源地に広がる苔の世界」
奥多摩町・氷川小学校



最後に当フォーラム平岡副会長から閉会挨拶をいただき、発表会は終了しました。

来年度は
2024年12月14(土)に
開催予定!お楽しみに♪